

串原中でシイタケ菌打ち

5月7日、串原中学校で全校生徒16人が恒例のシイタケの菌打ち作業を行いました。

作業は、クヌギなどの原木に約30箇所、チョークで目印をつけた所にドリルで穴を開け、菌を培養した木の駒を打ち込みました。菌を打ち込んだ20本の原木は隣接する山林に運ばれ、水をかけて管理され1年ほどでシイタケが収穫できます。収穫は春と秋の2回行われ、採れたシイタケは地域で販売し、来年の原材料などの購入に充てられます。



▲原木にドリルで穴を開け、シイタケ菌の駒を打ち込む

おばあちゃん市で昔遊び



▲竹友の会で作られた竹とんぼを慎重に選ぶ子どもたち

5月5日、道の駅おばあちゃん市・山岡で、こどもの日にちなんで、もちつき大会と昔遊び体験が行われました。もちは10升用意され、同駅の役員によるつきたてのもちが振る舞われました。昔遊びは、竹馬や竹とんぼ、お手玉、おはじきなどを同町の「竹友の会」や地元の仲良しグループのお年より約10人が手ほどきして、一緒に楽しみました。また小里川ダム270mにわたって飾られた70匹のこいのぼりが、訪れた人の目を楽しませていました。

とれたてのキュウリだよ

5月17日、恵那農業高校で大井小学校の2年生約70人が高校生から説明を受けながらキュウリの収穫作業を体験しました。

毎年、同高園芸科学科の生徒が校内のビニールハウスでキュウリを栽培しており、収穫時期に合わせて地域の小学生などと交流をしながら収穫体験をしています。児童らは、園芸科学科の3年生10人から、収穫方法についてクイズ形式で教わった後、有機栽培で大きく育ったキュウリを収穫しました。



▲楽しそうに高校生とキュウリの収穫を楽しむ大井小児童

少年消防隊に98人が入隊



▲伊藤消防団長から隊旗貸与を受ける北原隊長

恵那文化センターで5月6日、市少年消防隊入隊式が開催され、新入隊員98人が辞令を受けました。式典で伊藤春正消防団長は、「火の恐さ、地震の恐ろしさを知ってほしい。そして隊長を中心に楽しい組織にしてほしい」と訓辞を、北原冴子隊長（長島小学校6年）は、「火災予防を心がけ、明朗活発な模範となる隊員になります」と誓いの言葉を述べました。本年度は、放水訓練などの体験学習や防災施設の見学など、4回の活動に参加する予定です。

中野方小児童が踊り披露

5月3日、市無形文化財のめれた囃子が奉納される中野方町笠置神社で春まつりが開催され、中野方小児童らが、みこしや踊りに参加しました。

祭りでは、花笠と色とりどりの衣装を身に付けた杵振り踊りの皆さんが登場すると、カメラを構えた人が盛んにシャッターを切っていました。踊りには、おかめや天狗の面をつけた人がおり、天狗の持つひしゃくを子どもの頭に載せると健やかに育つといわれ、天狗が近づくと泣き出す子もいました。



▲中野方音頭を披露する中野方小児童ら

新規学卒就職者を激励



▲誓いの言葉を述べる辻高孝さん

恵那雇用対策協議会（会長：可知義明恵那市長）では4月26日、平成19年度新規学卒就職者激励会を開催し、新規学卒者で恵那市内の企業などに就職した出席者110人を、来賓・各企業の引率者など約40人が激励しました。新入社員代表の辻高孝さん（㈱パロー）は、「本年度から晴れてこの恵那の地で働くことに、この上ない名誉と喜びを感じます。若い感性と元気を武器に精進します」と誓いの言葉を述べ、決意を新たにしました。

武将行列りりしく

5月3～5日にかけて、明智町で第20回日本大正村ちよとおんさい祭が行われ、多くの観光客で賑わいました。初日には第35回光秀まつりも行われ、同町ゆかりの明智光秀にちなんだ武将行列が行われました。武将行列には、騎馬武将、少年少女武将などが参加し、山車には、日本大正村司葉子村長が乗り、大正村の町並みを練り歩きました。

その後、光秀鉄砲隊による火縄銃演武も行われ、その迫力に観光客は見入っていました。



▲大正村を練り歩く武将行列

山菜採りや炭焼きを体験



▲手作りパンを炭火で焼く子どもたち

4月29日、明智町の下田良子地区で「大地の体験第1回里山体験プラン」が行われ、名古屋市や瀬戸市、多治見市などから約80人が参加しました。これは、同地区のまちづくり団体「クリエイト下田良子」（佐々木善久代表）が、農業体験を通して、地域の活性化と都市住民との交流を目的に開催。参加者は、ワラビなどの山菜採りや炭焼き、炭火によるパン焼きなど体験した後、地元野菜の天ぷらや、あまごの塩焼きを広る農村風景の中で味わいました。

フットサル大会開かれる

第2回クリスタルカップフットサル大会（一般の部・少年の部）が、5月13日と20日に恵那スケート場で開催され、多治見市を除く東濃地区から、一般の部では12チーム150人が、少年の部では12チーム230人の選手が出場し、クリスタルカップを懸けて熱戦を繰り広げました。栄えあるクリスタルカップを手にしたチームは、一般の部ではHOO S I E R S（恵那市）、少年の部では中津西サッカースポーツ少年団F（中津川市）でした。



▲少年の部では大人顔負けのプレーに歓声上がる

女性消防隊が全国大会へ



▲全国大会へ出場する市消防団女性消防隊の皆さん

4月に編成された市消防団女性消防隊の町野正子隊長ら7人が、5月16日、市役所を訪れ、10月に横浜市で開催される全国女性消防操法大会へ岐阜県代表として出場することなどを市長に報告しました。

現在、消防隊は22人で構成されており、大会に向けて18歳から40歳代までの11人が5月から週2回のペースで練習に取り組んでいます。隊員らは市長に大会向け「優勝を目指します」と力強く抱負を語りました。

おいしいお米になってね

5月24日、東野小学校の4・5年生約30人が学校近くの学校田で田植え体験をしました。児童らは、稲作について総合学習や社会の授業で学んでおり、作業はJAひがしみの営農担当奥村しのぶさんから苗の植え方について説明を受け、約500平方メートルの水田に横一列になり1人4列ほどを植え付けました。最初は慎重に足を運んでいましたが、すぐに慣れ、30分ほどで無事に植え終わりました。秋には、収穫したお米でおにぎりを作って食べる予定です。



▲学校田で楽しく田植えをする東野小児童

社員研修でアグリ体験



▲手植えの田植えを体験する参加者

5月18日、(株)パロー新入社員と中北薬品(株)社員38人が「農村景観日本一」の称号を持つ岩村町富田地区で、ACT（アグリカルチャー・トレーニング）事業に参加し、田植えを体験しました。この事業は、米づくりを通じて、食料・農業の重要性を学習することを目的としており、名古屋圏を中心とした6社約200人が5日間に分かれて実施。田んぼに線引きをした後、手植えでの田植えに汗を流しながら、肌で「農業」の大変さを実感しました。

『三つの東海道—保永堂版・行書版・豎絵東海道—』

中山道広重美術館
企画展覧会

■会期
4/12(木)～7/16(月)

●第3期
6/21日(木)～7/16(月)

五十三次名所図会
(豎絵東海道)

毎週月曜日(祝日を除く)、
祝日の翌日(土日・祝日を除く)休館。

※6/18(月)～20(水)までと、
会期終了後の7/17(火)～19日(木)
まで展示替え休館します。



企画展「三つの東海道—保永堂版・行書版・豎絵東海道—」の第3期では、「五十三次名所図会(豎絵東海道)」を展示します。豎絵東海道とは、作品が縦構図で描かれたため付けられた通称です。

左の図版は歌川広重「五十三次名所図会なるみめいさんありまつたな鳴海名産有松しぼり店」。有松絞を商う店舗が描かれています。有松絞は、絞りを施した木綿を藍と紅で染めた鳴海の東にあった有松村の名産品で、有松や鳴海の街道沿いで売られており、広重の街道絵でも必ず描かれています。

歌川広重
「五十三次名所図会
鳴海名産有松しぼり店」

大判錦絵揃物の内
安政2年(1855年)

あなたの市県民税・所得税が変わります

何がかわるの？

「地方でできることは地方で」との方針により、国が進めている「三位一体改革」の一環として、国税(所得税)から地方税(市県民税)へ約3兆円の税源が移譲されます。

どう変わるの？

【例1】給与所得者(収入500万円)夫婦・子ども2人(子ども1人は特定扶養、一定の社会保険料を控除)の4人世帯の場合

給与収入	税源移譲前(単位:円)			→	税源移譲後(単位:円)			=	負担増減額
	市県民税	所得税	合計		市県民税	所得税	合計		
500万円	76,000	119,000	195,000		135,500	59,500	195,000		0円

【例2】年金受給者(収入300万円)満65歳以上で夫婦の2人世帯の場合(一定の社会保険料を控除)

年金収入	税源移譲前(単位:円)			→	税源移譲後(単位:円)			=	負担増減額
	市県民税	所得税	合計		市県民税	所得税	合計		
300万円	42,000	74,000	116,000		79,000	37,000	116,000		0円

※この税源移譲によって、市県民税が増えても所得税が減るため「市県民税+所得税」の負担額は基本的に変わりません。

いつ変わるの？

区分	市県民税	所得税
給与所得・年金受給者の場合	平成19年6月から	平成19年1月以降の源泉徴収から
自営業者などの場合		平成20年2月～3月に行われる確定申告から

その他

平成11年度から景気対策として導入されていた「定率減税措置」の廃止や個人の収入の増減などにより、実際の負担額は増減する場合があります。

※この内容は、本紙1月1日号(No.50)にも掲載してあります。

□お問い合わせ ▷市県民税=市役所税務課市民税係(内線504、506) ▷所得税=中津川税務署☎0573-66-9237